

## 心を以て心に伝う

先月行われた「被災地応援5. 11 祈りとしらべのつどい」は、心が優しさ色で染まる様に感じるひと時でした。参加者からは「生徒さんの一生懸命歌う姿に感動しました。」「演奏の音色が心に染み入りました。」「こんな素晴らしい中学生や高校生がいてくれることが心の支えです。」と参加された被災者の方が言ってくださいました。

### + チャプレン室から +

『とても感動的な時間でした。何故なら一人の思いが他の人にそしてまた他の人へとどんどん＜絆＞がつながって行って、最後はみんなの心が一つになっていたからです。私たち一人一人の祈りは人の目にはたとえ小さく見えようとも神さまにとっては決して小さくない、今回そのことを特に実感させられました。全ての生徒たち、とくに短い準備時間にも関わらず主体的に頑張った東日本被災地応援実行委員会の皆さんにエールを送りたいです。ぜひ、これを機にこの＜絆＞がさらに強くなり、支援の輪が広がっていくことを願います。』

チャプレン岩田



バイオリン演奏

『本当に素晴らしいひと時を生徒たちと保護者の皆さん、地域の方々と教会の信徒さんとともに過ごせたことを心から感謝します。このイベントを通して、人は支え合い、神さまの愛を分かち合うために生かされているのだなということを改めて知り、励まされました。被災地の方々を想うと同時に、これからのわたしたち一人ひとりの生き方を考えさせられたひと時でした。実行委員会のみんな、ありがとう！』

チャプレン古本



中学3年生全員合唱「明日へ」



気仙沼物産・タオルなど販売  
収益94823円



桜・チューリップ・紫陽花に続き向日葵柄のハンドタオルを販売中です。向日葵はセシウム137などを吸収し汚染除去が可能だと放送されたために、福島ではいたる所に植えられています。



# リレートーク

図書室 道場 須美

## 震災から3度目の夏を迎えて

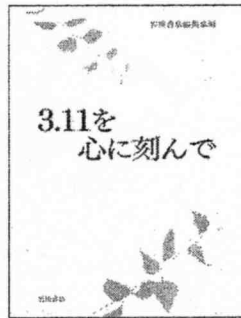
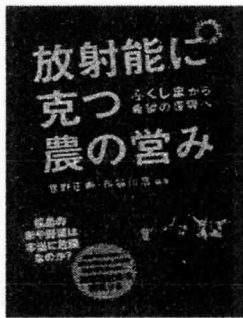
「今年の、田んぼの出来は、どうだろう。」農業体験をした人たちは、思いをはせる時があるでしょう。日本中のお米を作っている方々の思いです。

福島田んぼは、どうだろう。海は、山はどうだろう。進まない除染、原発の排水が魚が獲れるようになった海に流そうとする国の動き。それでも。

がんばって、がんばって、なおがんばる。そして……。

一昨年よりは、去年。去年よりも今年、来年。笑顔の収穫期を迎えられますように。

『放射能に克つ農の営み』 数字と化学記号と漢字を読み飛ばしても、伝わってくる、強く、熱い思い。



「がんばろう」に対して「がんばっています」は圧倒的に少ない。あんなにがんばっているのに。(この史代)こんなにも、共感できる思いを、誰もが感じることを綴った、『3.11を心に刻んで』。読了後、一人うなずく自分がいます。

「遠く」にいる被災地の方々……東北は決して遠くはないし、被災地は今もそこにあるけれど別の世界ではありません。人の心が、勝手に距離を作って、遠いと言わせているのではないか。高島の田んぼで見た、あの笑顔が、福島田んぼにも連なっているのです。

## 2年3ヶ月今なお…

死者1万5883人、行方不明者2671人(6月10日現在)

避難・転居者30万3571人(5月9日現在)

京都への避難者981人(6月10日現在)

「震災関連死」と認定された人が今年3月までに1都9県で2688人  
福島が最多だったのは原発事故による避難生活が原因です。

避難しているの方々への支援を強めなければと思います。

## 2年3ヶ月今なお…